ストレージVM災害復旧保護関係の監視

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/data-protection/concept_monitor_storage_vm_disaster_recovery_relationships.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ストレージVM災害復旧保護関係の監視 1
Active IQ Unified Manager でのストレージ VM ディザスタリカバリ関係について学ぶ 1
Active IQ Unified Manager の [関係] ページを使用してストレージ VM を監視する 1
Active IQ Unified Manager のストレージ VM ページで保護関係を表示する 2
Active IQ Unified Manager で保護ステータスに基づいてストレージ VM を表示する 2

ストレージVM災害復旧保護関係の監視

Active IQ Unified Manager でのストレージ VM ディザスタリカバリ関係について学ぶ

Active IQ Unified Managerでは、Storage VMレベルでのディザスタ リカバリを実現するStorage VMディザスタ リカバリ関係を監視できます。Storage VMディザスタ リカバリを使用すると、Storage VMのコンスティチュエント ボリューム内のデータをリカバリしたり、Storage VMの設定をリカバリしたりできます。

ソースStorage VMからデスティネーションStorage VMへのStorage VM DR関係は、非同期のディザスタ リカバリを実現するために作成されます。クラスタのセットアップに基づいて、データ ボリュームと一緒にすべてまたは一部のStorage VM設定（ネットワークとプロトコルの設定を除く）をレプリケートするかどうかを選択できます。

Storage VMディザスタ リカバリ関係を設定すると、ハードウェア障害や自然災害が原因でソースStorage VMを使用できなくなるとデスティネーションStorage VMが起動し、最小限のシステム停止でデータへのアクセスが再開されます。同様に、ソースStorage VMが使用可能になると、デスティネーションStorage VMと再同期され、ソースからのデータの提供が再開されます。SnapMirrorコマンドを使用して、Storage VMディザスタ リカバリ関係を設定および管理できます。

Active IQ Unified Manager の [関係] ページを使用してストレージ VM を監視する

Storage VMディザスタ リカバリ関係は、[インベントリ]の[保護]セクションにある[関係]ページで監視できます。デフォルトでは、コンスティチュエント関係のフィルタが適用されているため、[関係]ページには最上位の関係だけが表示されます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

フィルタを使用して、Storage VMディザスタ リカバリ関係を表示します。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、保護 > *関係*をクリックします。

   すべてのタイプ（ボリューム、整合性グループ、Storage VM）の関係が表示されます。

2. *フィルター*をクリックし、*関係オブジェクトタイプ*と*Storage VM*を選択して、Storage VMのディザスタリカバリ関係のみを表示します。
3. *フィルターを適用*をクリックします。

   保護関係をすべて表示するには、コンスティチュエント関係のフィルタをクリアする必要があります。

   Storage VMディザスタ リカバリ関係だけがページに表示されます。

Active IQ Unified Manager のストレージ VM ページで保護関係を表示する

ストレージVMページを使用すると、既存のストレージVMのディザスタリカバリ関係のステータスを確認できます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

保護関係の詳細、例えば転送状況や遅延状況、送信元や送信先の詳細なども確認できます。レポートのスケジュール設定や、必要な形式で既存のレポートをダウンロードできます。「表示/非表示」ボタンを使用すると、デフォルトでは表示されない必要な列をレポートに追加できます。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**STORAGE** > *Storage VMs*をクリックします。
2. 表示*メニューから、*関係 > *すべての関係*を選択します。

   関係：すべての関係ビューには、構成済みのすべてのストレージVMが表示されます。

Active IQ Unified Manager で保護ステータスに基づいてストレージ VM を表示する

[インベントリ]の[Storage VM]ページを使用すると、Active IQ Unified Manager内のすべてのStorage VMを表示し、保護ステータスに基づいてStorage VMをフィルタできます。

開始する前に

アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

[Storage VM]ビューに、Storage VMが保護されているかどうかを表示する[保護ロール]という新しい列が追加されました。

ソース クラスタがActive IQ Unified Managerに追加されていない場合は、そのクラスタに関連する情報は表示されません。

手順

1. 左側のナビゲーションペインで、**STORAGE** > *Storage VMs*をクリックします。
2. 表示*メニューから、*正常性 > *すべてのストレージVM*を選択します。

   「健全性：すべてのストレージVM」が表示されます。

3. *フィルター*をクリックして、以下のストレージVMのいずれかを表示します。

表示するには	フィルター値
保護されたストレージ**VM**	保護ロール*は*保護されています
保護されていないストレージ**VM**	保護ロール*は*保護されていません

保護されているStorage VMと保護されていないStorage VMの両方を同時に表示することはできません。新しいフィルタ オプションを再適用するには、既存のフィルタをクリアする必要があります。

4. *フィルターを適用*をクリックします。

   [保存されていない]ビューには、選択したフィルタに基づいて、Storage VMディザスタ リカバリで保護されているStorage VMまたは保護されていないStorage VMがすべて表示されます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。